

今号の

# 八尾プレ

読者アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で3名さまに、藤田金属株式会社「フライパンジュウ」をプレゼント!

3名  
さま



「つくる」と「食べる」をひとつに!  
取っ手が取り外しできる  
鉄のフライパンです

## フライパン ジュウ

Mサイズ/ビーチ(ブナ材)



藤田金属株式会社  
藤田盛一郎さん

商品詳細はこちら



### ▼読者アンケートはこちらから! (8/31締め切り)



左の二次元コードを読み取って、読者アンケートにお答えください。  
当選結果は景品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

※読者アンケートは、八尾市観光協会の  
WEBサイトからもご回答いただけます。

八尾市観光協会

検索

今回の八尾プレをご提供いただいた「藤田金属株式会社」様の取材記事はP14・15へ

## やおよろず掲示板

八尾のまち情報をお届けする掲示板です。  
今回は八尾市観光協会の情報をお届けします。

### 八尾市観光協会、インスタはじめました!

Follow Me!



# Instagram

八尾市の魅力をもっともっと知ってほしい!!という想いで、八尾市観光協会がInstagramを開設しました。最新の話題からマメ知識、グルメやイベントのお知らせなどなど、八尾の情報をどんどん発信していきます。フォローすれば、八尾通になれること間違いなし!皆さまのフォロー、お待ちしております!!



公式Instagram  
はこちら!

新  
Yaomania

新Yaomania(シン・ヤオマニア)2021年 夏号(通算Vol.39) 発行日:2021年(令和3年)7月10日 発行部数:8,000部 企画・編集:株式会社シカトキノコ  
発行:一般社団法人八尾市観光協会 〒581-0802 大阪府八尾市北本町2-1 ベントプラザ20号 TEL 072-997-6226 http://www.yaomania.jp

新

大阪・八尾の観光&グルメ情報

TAKE FREE

# Yaomania

【シン・ヤオマニア】2021年 夏号 [Vol.39]



撮影:手造り豆腐 河内庵

とびら

とびら:八尾サイクル百景「絵画・イラスト大募集」 02・03:八尾自転車物語「八尾シティネット株式会社」  
04・05:八尾自転車物語「サイクリングマップおすすめスポット」  
06・07:手書き文字のチカラ「浦川良子さん」 08・09:八尾は聖徳太子と物部守屋「物部守屋大連墳」  
10:タイムスリップ八尾「1964年の八尾」 11:ヤオマニアック断「八尾・大正飛行場を訪れた特攻隊・国華隊」  
12・13:八尾プレ企業訪問「藤田金属株式会社」 14・15:みんなの川柳「八尾の夏」  
裏表紙:今号の八尾プレ「フライパンジュウ」、やおよろず掲示板「インスタはじめました!」



# 八尾のまちを自転車で観光しよう！ 「八尾サイクル百景」 絵画・イラスト大募集



自転車で訪れた八尾市内の名所やスポットの絵を募集します！  
お気に入りの場所やおすすめの風景など、自転車で出かけたい風景を自由に描いてください。

## 作品について

- 作品は、本誌(ウラ面)の白紙ページにお描きください。
  - 自転車で訪れた八尾の名所であれば、風景と自転車でも、風景のみでもかまいません。
  - スケッチ、油絵、水彩、鉛筆など、画材や技法は問いません。
  - プロ・アマは問いません。
- ※未発表のオリジナル作品に限ります。  
※誌面等に掲載した作品の著作権は八尾市観光協会に帰属します。  
※掲載の有無にかかわらず、応募作品はご返却いたしません。

## 特別賞について

ご応募いただいた作品の中から、  
審査員賞・ミキハウス賞・ヤオマニア賞を選出し、豪華な賞品を進呈！

### 審査員賞



童画家  
徳 治昭さん

童画家・フリーイラストレーター。  
1968年生まれ、八尾市在住。  
奈良芸術短期大学洋画科卒業。  
全国で展覧会を開催するほか、  
八尾図書館の読書通帳表紙画、  
企業キャラクター制作、宝くじイ  
ラスト他、様々なジャンルとのコ  
ラボ作品も発表。2014年八尾  
市文化新人賞受賞。



1名  
さま

「らいおんサン」  
SMサイズ 額装済み  
(額装サイズ/310mm×380mm)

### ミキハウス賞



3名  
さま

トートバッグ

**mikiHOUSE**

提供：三起商行株式会社

### ヤオマニア賞



5名  
さま

サムライマスク  
八尾限定パッケージ  
(2箱セット)



提供：一般社団法人八尾市観光協会

## 応募について

- 作品は「やおサイクリングステーション」宛にご応募ください。  
直接ご持参の方には、「リフレクター付き巾着」を1つプレゼントします。  
(作品は郵送でも受け付けますが、プレゼントはご持参の方に限らせていただきます)

- 応募締切：2021年8月20日(金) ※消印有効
- 結果発表：2021年9月1日(水) ※八尾市観光協会ホームページ・Facebookページ



八尾市観光協会  
ホームページ

## 受付 場所

やおサイクリングステーション(八尾市観光案内所内)  
〒581-0802 八尾市北本町2-1 ペントプラザ20号(近鉄八尾駅高架下)  
☎072-997-6226 営業時間 10:00~18:00 休館日 火曜日(祝日を除く)

住所 〒	
氏名	電話番号
※入賞者の氏名は公表させていただきます。ご了承ください。	
年齢	メールアドレス
職業	



# 八尾をもっと、「自転車のまち」に!



～快適な自転車ライフを支える、八尾シティネットの取り組み～

「八尾自転車物語」は、八尾市の地域資源や文化財の魅力にふれる自転車ツアー。その拠点となる「やおサイクリングステーション(八尾市観光案内所内)」が、八尾シティネット株式会社の協力のもと、オープンしました。今回は、さまざまな自転車事業を手掛ける同社の山口社長、吉村総務部長に、事業への想いや八尾の観光・自転車事情について、お話を伺いました。

## まちを盛り上げる、元気な笑顔と挨拶

“八尾をもっと、「自転車のまち」に!”が本日のテーマですが、まず八尾市の自転車利用の状況について、教えてくださいませんか?

**吉村部長** 八尾市は地形が平坦なこともあり、市民の皆さんの自転車利用率は非常に高いですね。交通手段分担率を分析すると、鉄道・バス等比べて自転車の利用率が高く、府内中核都市のなかでもトップクラスの数字です。自転車は市民の皆さんの移動の手段として親しまれていることが、データからもわかります。

それだけ自転車の利用が多いということは、自転車駐車場の存在が非常に重要になりますね。

**山口社長** そうですね。八尾シティネットは平成9年、市内の放置自転車対策を目的に、自転車駐車場の経営管理のために設立されました。現在は市内9駅14施設の自転車駐車場を運営しています。八尾市内の放置自転車は平成2年度の23,806台をピークに、令和元年度は3,577台まで減少しました。行政と連携して、自転車マナー向上キャンペーンやイベントなど、啓発活動にも参画しています。

八尾の自転車ライフにおいて、自転車駐車場の存在がいかに大きいかがわかります。

**山口社長** シルバー人材センターとも連携し、八尾市在住の高齢者の就労機会にも貢献しています。皆さんイキイキと働いておられて、現場もとても良い雰囲気です。管理員さんの「おはようございます」「行ってらっしゃい」の元気な挨拶に、利用者の方も「ただいま」「行ってきます」と返してくださって、良いコミュニケーションが生まれています。

**吉村部長** 八尾シティネットの自転車駐車場の多くは、駅に隣接しています。駅は通勤や通学などで、多くの方が日常的に使う場所。まちの「顔」とも言える存在ですから、明るい笑顔や元気な挨拶は、まちの雰囲気づくりに一役買っているのでは、と思います。



愛車を寝室に飾っているという山口社長



管理員さん同士も仲が良く、年1回の懇親会も開催。(コロナ禍では休止)

## いつかは「ヤオイチ」「ツール・ド・ヤオ」も。

では続いて、八尾の自転車観光の拠点となる「やおサイクリングステーション」について、期待されることをお聞かせください。

**山口社長** 八尾市の観光魅力をどんどん発信してほしいと思いますし、私たちも手軽に楽しくサイクリングできる企画に取り組みたいと考えています。八尾市観光協会とともに、まちの活性化につなげていきたいですね。山手のほうは登りが少し厳しいですが、「やおサイクリングステーション」には電動アシスト自転車も3台ありますから、ぜひ大阪平野を一望できる高台からの景色を楽しんでいただきたいと思っています。



やおサイクリングステーション

**吉村部長** まちの活性化は人が動くことで生まれますから、レンタサイクルの利用によって人の動きを生み出すことで、市全体の活性化にもつながると期待しています。たとえば、市内の企業と連携し、ロゴ入りのおしゃれな電動レンタサイクルの導入など、八尾一丸で自転車のまちとして盛り上げていきたいですね。

## 八尾の自転車観光の可能性については、どのようにお考えでしょうか?

**山口社長** 八尾にはさまざまな観光資源がありますが、自転車を使うことで、のんびりと健康的に観光を楽しんでもらえるのでは、と思います。八尾市から河内長野市まで続く21.1kmの「南河内サイクリングライン」は、大和川沿いを安全に気持ちよく走れるのでおすすめです。また、山手では水呑地蔵や十三峠など、ヒルクライムも楽しめます。

**吉村部長** 川沿いや山手などロケーションが豊かなので面白いコースが作れますし、いつかは「ツール・ド・フランス」のような自転車レースが八尾でできたらいいな、と思います。

## 八尾で自転車レース!それは楽しそうですね。

**山口社長** サイクリストの間で、琵琶湖を一周する「ピワイチ」や、淡路島を一周する「アワイチ」が人気なんです。同じように、「ヤオイチ」があっても面白いですね。

八尾シティネット株式会社

代表取締役

山口孝満さん(右)

総務部長

吉村公一さん(左)



**吉村部長** そうですね、古墳を巡ったり、飛行場の中を走ったりできれば、かなり個性的なコースができるのではないのでしょうか。堺市や平群町など、近隣の市町村とも連携して企画できれば、より魅力的ですね。世界中からサイクリストが集まるようなレースが誘致できれば……と夢がふくらみます。

おふたりもスポーツバイクのご経験をお持ちなのでお詳しいですね。自転車に乗ることの魅力や楽しさは、どのようなところでしょうか?

**吉村部長** 風を感じながら走るのが、とにかく気持ちが良いですね。スポーツバイクは時速30キロぐらいで走るので、けっこうスピードが速いです。自転車に乗っているというより、風に乗って飛んでいるような感覚になりますよ。

**山口社長** ヘダルひとつからすべて自分仕様のカスタマイズするので、メカとしての面白さもありますね。部品ひとつひとつがかっこよくて、メンテナンスをするのも楽しい。自転車そのものも美しいので、眺めているだけでも飽きません。

おふたりの自転車愛が伝わってきます。これまでのご経験の中で、印象に残っているエピソードはありますか?

**山口社長** 小学生の頃、初めてドロップハンドルの自転車を買ってもらったときは嬉しかったですね。あまりに嬉しくて、八尾から琵琶湖までサイクリングに行きました。いま思うと無謀ですよ(笑)。峠越えもあって、とにかく大変だったのをよく覚えています。

**吉村部長** 私は、しまなみ海道や淡路島を走ったときに、自転車っていいなと実感しました。風の中を走っていると、自分がスーパーマンになったような気分になります。ただ、仲間と隊列を組んでかなりのスピードで走るので、景色より前の人のお尻しか見えませんが(笑)。



オリジナルキャラクター「チャーリーくん」

自転車を愛するおふたりだからこそ、自転車観光の活性化に向けた多彩なアイデアが生まれそうですね。

**山口社長** 東京では、駅にスポーツバイクのステーションがあったり、シャワー施設があったりと、まちに自転車文化が根付いている印象があります。八尾でもゆくゆくは、スポーツバイクの貸し出しなどでも面白いかもしれませんね。

**吉村部長** 本当に、手ぶらで来てスポーツバイクで観光できるよう



吉村部長の夢は、八尾への自転車レースの誘致

になるといいですね。標識の設置や道路の整備などハード面での改善が必要ですが、行政や企業とも連携して、八尾の自転車文化を盛り上げられるような気運を作っていけたらいいと思います。

ちなみに、おふたりには八尾市内でお気に入りの自転車スポットはありますか?

**吉村部長** 山手のほうでしょうか。登るのは大変ですが、水呑地蔵あたりから見る八尾のまちや夕陽は、本当に美しいですね。

**山口社長** 私は久宝寺緑地ですね。スポーツバイクに乗っているときも、よくトレーニングのために走っていました。

## これまで以上に、地域密着をめざして。

では最後になりますが、八尾シティネットとして、今後の展開や力を入れていきたいことについて、お聞かせください。

**吉村部長** 八尾に住む人、八尾を訪れる人が行き交う駅に隣接する施設として、これからも笑顔で明るく皆さまをお迎えし、親しまれる自転車駐車場を目指したいと思います。



地下鉄八尾南駅の自転車駐車場の壁画作品

**山口社長** 社会はキャッシュレス化していますので、利用者のサービス向上のため、交通系電子マネーが使用できる精算機に改良しています。「やおサイクリングステーション」においても、PayPayの導入を検討しています。また、無機質な自転車駐車場の壁面を少しでも温かみのある雰囲気にするために、近隣の保育園に協力をお願いし、園児の皆さんの作品を壁面に飾らせていただきました。これからは同様の取り組みを広げて、「地域密着型の自転車駐車場」として、地域の皆さまと共に発展していきたいと考えています。



八尾シティネット株式会社

八尾市本町1-4-1 谷村ビル5階 501号  
TEL 072-923-9271 FAX 072-923-9299



# 八尾自転車物語 実走ライター・奥井が紹介! 「サイクリングマップ」おすすめスポット



八尾市観光案内所内にある「やおサイクリングステーション」では、『新Yaomania』特別編集版のサイクリングマップを配布中! 八尾ならではの名所を巡る3つのコースを掲載しているこのマップの中から、実際にコースを走って取材したライターがおすすめスポットをご紹介します。見どころ満載のコースの中から「ここは見てほしい!」というポイントをピックアップ! 走ったからこそわかるおすすめを、ぜひチェックしてみてください。

## サイクリングマップとは?

「八尾のまちを、自転車で観光しよう!」をテーマに、八尾の歴史や文化、グルメを満喫できる3つのサイクリングコースをご紹介します。マップは「やおサイクリングステーション」で配布中! ぜひ八尾の魅力を、自転車で体感してください。



サイクリングマップはウェブでも閲覧可能!



ライター・奥井 希  
Yaomania誌面で「サイクリングマップ掲載コース走ってみた」を担当。これまで数々のコースを走破!

## A 河内国の歴史と パワースポットを巡る

由緒ある古社「恩智神社」や、築250年の旧河内木綿問屋敷「茶吉庵」、恩智左近の墓など、河内の国の歴史スポットを散策。登り坂や路地が多いので、乗ったり押ししたりしながら、あちこち探検するような気分で楽しんでください(電動アシスト自転車があればラクですよ)。



このコースの目玉のひとつが、江戸時代の古民家をリノベーションした「茶吉庵」。河内地方の伝統的な建築技法で建てられており、国の有形文化財に登録されています。現在はギャラリーやイベントスペースになっていて、敷地内のカフェは休憩にぴったり。入口にはサイクルラックも設置されています。



この地を治めていたとされる南北町時代の豪族・恩智左近満一の墓。楠木正成方に味方した八尾の一人、恩智城を築いた人物なのだそう。下の写真は、お墓の後ろから見た景色。



国内でも有数の古社「恩智神社」は、河内の国のパワースポット! 階段の下に自転車を置いて登ること数分、階段の途中でふっと空気が変わるのを感じます。さすが神域、清々しい空気に満ちています。静かに手を合わせれば、気分もリフレッシュ! がんばって登ったかいがありました。



さらに神社の奥へ5分ほど歩くと、池があります(恩智惣池というそうです)。溜池のようですが、池に映る山や緑が美しかったです。散歩や釣りを楽しむ人の姿もちらほら。



気になったところ!



恩智城址公園は、恩智左近満一が築いたとされる城のあと。楠木正行の戦死とともに落城したそうです。現在は公園になっていて、春にはお花見スポットとしても人気。魚の形をした、不思議な遊具もあります。



### Aコース紹介

- 近鉄恩智駅(レンタサイクル)
- シュミイ地蔵尊
- 茶吉庵
- 恩智左近の墓
- 八王子神社
- 恩智城址公園
- 恩智神社
- 天王の社
- 近鉄恩智駅

## B 道鏡の夢の跡、 幻の由義宮を訪ねる

八尾出身の僧侶・弓削道鏡が造営に深く関わったとされる「由義宮」。その存在を示す「由義寺跡」など、幻の都の面影を探るコースです。歴史スポットを巡る楽しみはもちろん、長瀬川沿いを爽快地走れば、サイクリングとしての楽しさも味わえますよ。



名前からして由義宮との関わりが深そうな「由義神社」。かつては広大な敷地を誇った立派な旧社だったそうです。境内には「由義宮旧址の碑」があります。道鏡を重用した称徳天皇も、何度もこの地を訪れたのだとか。



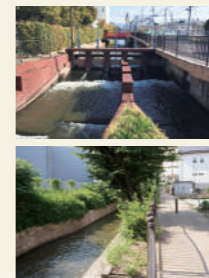
JR志紀駅を挟んで建つふたつの神社。どちらも名前は「弓削神社」です。もともとはひとつの大きな神社だったのが、江戸時代に東西二社に分かれたのだとか。写真左が弓削神社(東)、右が弓削神社(西)。西の弓削神社のほうが境内が広く、弓削道鏡にまつわる石碑や猿田彦神社、天満宮などもあります。



国指定文化財の「由義寺跡」。由義寺は平城京の西の都「西京」で、称徳天皇が道鏡の郷里である弓削の地に設けたといわれています。長らくその存在は幻とされてきましたが、2017年に塔基壇が発見されました。現在、遺構は保存のため埋め戻されていますが、この地に都があったと考えるだけでも歴史ロマンに浸れます。



旧大和川が、玉串川と長瀬川に分岐する場所。「大和川分水築留掛かり」の名称で、2018年に「世界かんがい施設遺産」にも登録されています。



走るの楽しい!



JR志紀駅とJR八尾駅の間は、大和路線の線路と並行して流れる長瀬川沿いをサイクリング。アップダウンもないので、気持ちよく爽快地走れますよ。休憩は、JR八尾駅近くの安中町5丁目公園で。公園内にも水路があり、桜やユキヤナギ、アジサイなど季節のお花も楽しめます。



### Bコース紹介

- JR志紀駅(レンタサイクル)
- 龍華寺跡
- 由義神社
- 高松信重の墓
- 弓削神社(東)
- 弓削神社(西)
- 西村市郎右衛門碑
- 二俣
- 由義寺跡
- JR志紀駅

## C 聖徳太子と物部守屋の 歴史をたどる

今年は聖徳太子没後1400年。このコースでは聖徳太子だけでなく、聖徳太子と仏教を巡って対立した豪族・物部守屋ゆかりの地もめぐります。アップダウンの少ない平坦なコースですが、住宅街や街中を走るの、安全運転を心がけてくださいね。



聖徳太子ゆかりのお寺で、その名も「大聖勝軍寺」。ふつとほつべが若々しい聖徳太子像や、四天王像があります。物部守屋との戦の際、椋木に身を隠した聖徳太子の姿を再現した像も必見! そして境内にある平和塔にはなんと、聖徳太子と物部守屋の像が共に祀ってあります。



勝利を取った聖徳太子ゆかりのお寺のすぐそばにあるのは、敗れた物部守屋のお墓。ひっそりたたずんでいます。玉垣には全国の名だたる神社の名が刻まれ、国神を守った存在として大切にされていることがわかります。国道沿いで交通量が多いので、見学の際は気を付けて!



物部守屋の首を洗ったと伝わる池がある、北木の本の樟本神社(樟本神社)は木の本、北木の本、南木の本の3か所に鎮座。現在は遊具などもあって、子供たちの遊び場になっています。このあたりは、物部氏の領地だったそう。



光蓮寺門前にある、稲城址の石碑。聖徳太子が物部守屋の館を攻めたとき、守屋は稲城を築いて抗戦したと伝えられています。稲城とは、稲で囲った城や稲を積み上げた城などと伝えられているそうです。



こんなところ発見!



平野川沿いにある、柏原船の使い場。柏原船は平野川を運行する川船で、京橋から柏原までを往来していたそうです。現在は船着き場の階段があるのみですが、江戸時代はこのあたりを船が行き来していたんですね。



### Cコース紹介

- JR八尾駅(レンタサイクル)
- 澁川神社→跡部神社
- 大聖勝軍寺
- 物部守屋墳
- 鎗矢塚→弓代塚
- 樟本神社(北木の本)
- 稲城址
- 樟本神社(木の本)
- 樟本神社(南木の本)
- JR八尾駅

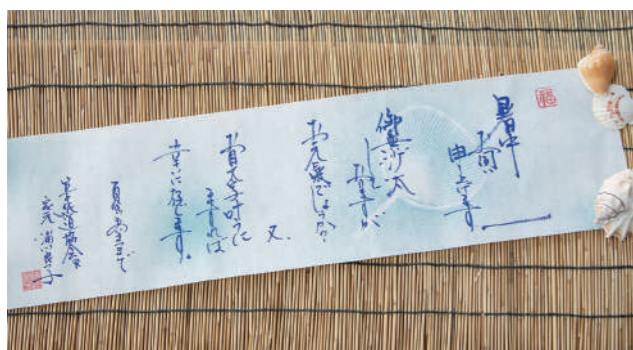
# 筆手紙道協会® 家元・浦川良子さんに聞く 「手書き文字のチカラ」

メールやアプリの普及で、めっきり手紙を書く機会が減ってしまった昨今。でも、手書きの文字からは、文章に書かれた内容だけでなく、温度や空気が伝わってきます。コロナ禍で会いたい人にもなかなか会えない今こそ、手書き文字をもう一度見直してみませんか? 今回本誌の表紙の文字を書き添えた筆手紙道協会® 家元・浦川良子さんに、手書き文字に宿るチカラやその魅力について、お聞きしました。



今号の表紙

## 手紙は、心をつかむ魔法のツール。



### 相手様のことを思い浮かべて「心」で書く

巻物のような和紙を開くと、爽やかな青色でしたためられた「暑中お伺い申し上げます」の文字。夏らしいちわの絵柄があらわれており、手紙全体から涼やかな雰囲気立ち上ります。これが、筆手紙道協会® 家元・浦川良子さんの巻手紙。雅趣あふれる巻手紙からは、本当に相手を見舞う心が伝わって来ます。

幼い頃から、言葉を綴ったり、文字を書いたりするのが大好きだった浦川さん。「感性豊かな伯母の影響だったかもしれません。『もうすぐお雛様の季節ですわ』『子供の日は何をしてお過ごしですか?』など、季節ごとに伯母から届く手紙が嬉しくて。感謝の気持ちを伝えようと、電話ではなく自分で返事を書いていました。大人になってからも、仕事のお礼状や遠方の友人への近況伺い、年賀状も封書にするなど、浦川さんにとって手紙を書くことは、暮らしに根づいた自然な習慣だとおっしゃいます。

「書く時はいつも、どうすれば相手様に喜んでいただけるかを考えます。今の時期なら青紅葉を忍ばせたり、季節を感じていただけるような工夫をしています」。読む人に喜んで欲しい、その気持ちから、絵を描き添えるなど様々な演出を凝らすようになったと浦川さん。そんな浦川さんの細やかな心遣いから生まれた巻手紙は評判を呼び、いつしか周囲の人から「教えてほしい」と請われるようになります。現在は多くのお弟子さんにお稽古をされている浦川さんですが、意外なことに、ご自身も教室を開くつもりは全くなかったそうです。「もともと我流ですし、私自身の“想い”で書いているもの

ですから、教室なんて考えてもいませんでした。それが、教えてと言われる機会が増えて、次は絵を添えてみましょうか、祝い箸や熨斗袋も作れますよ……と続けているうちに、いつの間にか教室ようになっていました。

### 配置や言葉選びにもこだわって、粋に表現



浦川さんがお稽古で伝えているのは、手紙の上手な書き方ではなく、「おもてなしの心」をいかに表現するか、ということ。「気配り、目配り、思いやり、愛……そういった

相手様を想う心を『手紙道®』として、皆さんにお話しています。手紙道®を通じて、四季の移ろいの感じ方や自然を愛する気持ち、言葉の選び方、本の読み方なども変わり、人生が豊かになると浦川さんはおっしゃいます。

巻手紙を書くコツや楽しみ方について伺うと、「長さのある紙に書きますので、両サイドと上下を少し開けることで、額線に入った巻手紙に見えます。ちょっとした配置や色合い、大和言葉、季節の

絵、落款などにも心を配ることで、音が聞こえてきそうな、声が聞こえてくるような雰囲気になります」と教えていただきました。例えば、暑中見舞いの言葉選びも、「暑中お伺い申し上げます」とひと工夫。定型文そのままではなく、あえて「お伺い」にすることで、印象はガラリと変わります。「見慣れていないことは、素敵で粋になるんです」との言葉どおり、見た瞬間にハッと心をつかまれます。



浦川さんのお手本とお稽古の様子。「今のまま、今の自分の字を書きます」

## 「八尾のカレー」の文字に込めた想い

### デジタル時代こそ、際立つ手書きの存在感

この心をつかむ手紙の術に魅せられ、ビジネスに手紙を活用する経営者の方も多とのこと。手紙はメールと違って手間や時間をかける分、相手のことを想う気持ちがより伝わります。しかも、それが美しい和紙の巻手紙で、開いた瞬間に紅葉がはらりと落ちたりすれば、受けとった側の感動はひとしお。メールが主流のデジタル社会だからこそ、手で文字を編む手紙の存在は際立ちます。

<手造り豆腐 河内庵>の三好社長も、そんな手書き文字に魅せられたおひとり。2年ほど前に巻手紙のイベントで浦川さんと知り合い、その文字に「一目ぼれ」。以来、店頭を彩るディスプレイやPOPなどを浦川さんに依頼されています。

三好社長が1980年(昭和55年)に創業した河内庵は、素材にこだわった豆腐作りで知られる八尾の有名店。国産大豆を使った安心・安全で美味しい豆腐のほか、おからドーナツや豆乳ソフトクリームなど、さまざまな商品を開発・販売されています。

そんな三好社長が新たに手掛けた新商品が、なんとレトルトカレー。八尾の名産品である若こぼうに、自慢の薄揚げや大豆ミートを合わせたカレーを考案されました。そのパッケージを依頼された時のことを、浦川さんはこう振り返ります「良子ちゃん、今度はカレーやねん!とおっしゃったときは驚きました。全くイメージできなくて。でも社長は、じゃあとありあえず書いてね、よろしく!とほぼ丸投げなんです(笑)」。

そんなオーダーに応じて浦川さんが書いたのは、「豆腐道 三好岩雄が作る 大阪産 八尾のカレー」という言葉。三好社長はひと目見て、「私の伝えなかったことがすべて表現されている。これや!と思いました」と、即採用を決定されました。

パッケージの文字について、「三好社長の生き方は、まさに『豆腐道』。これまでのお付き合いのなかで、商売への想い、八尾への想いを知っていたからこそ、それを表現す



若こぼうや大豆ミートを使用。ヘルシーで胃もたれしにくく、非常食にも。

る言葉が生まれました」と浦川さん。「八尾の“八”の文字には、社長の八尾への想いを込めて書きました」という言葉に、三好社長も「良子さんの書く文字には勢いがあるんです」とうなずき、「想いを伝えると、それを汲み取ってカタチにして返してくれるのが良子さん。ひと目見て文字に惚れ込みましたが、その目に狂いはなかったと思います」と全幅の信頼を置いておられます。



### 地元を思う気持ちから生まれた、新名物

では、なぜ三好社長は、カレーを作ろうと思ったのでしょうか。そこには、地元を愛する気持ちが秘められていました。「八尾の春の野菜と言えば若こぼう。うちのお店でも扱っています。ただ、時期も終わりの頃になると硬くなるので、ロスも増えるし値段も下がって農家さんが困ります。それなら、柔らかいうちに加工すれば面白いのでは、と考えました」。若こぼうをカレーにする際に一番大切にすることは、新鮮なまま使うこと。朝採りの若こぼうを近距離の工場に運ぶことで鮮度をキープ、風味や香りもカレーに生かします。これこそが、三好社長のこだわり。工場の方も、「若こぼうがこんなに香りが良いとは知らなかった」と驚いていたそうです。三好社長の地元を思う気持ちを浦川さんが汲み取り、美しい文字と言葉で表現した「八尾のカレー」は5月の発売から評判を呼び、今年のは完売間近。八尾にまた新たな名物が誕生しました。

最後に、おふたりに今後の抱負や展望などを伺いました。「八尾から全国、海外まで、手書きの文化、手紙の文化を発信してまいります。手書きには必ず、愛が宿ると思っております」と浦川さん。おもてなしのお稽古では定番になっているお地藏様を書き、まわりの方にお配りすることで、社会を笑顔にしていきたいとおっしゃいます。三好社長は、「メインからデザートまで、豆腐を使った料理で食卓をいっぱいにしたいですね」と、まだまだ豆腐の可能性に期待を寄せておられます。おふたりのますますの活躍が、八尾のさらなる発展につながっていきそうです。

筆手紙道協会® 家元  
うらかわよしこ  
浦川良子さん



高校卒業後、美容関係や政治家秘書など多種多様な仕事を経験。その後、おもてなし研究者として独自の感性を生かしたインテリアのコーディネイト、イベントプロデュースなどを多数手掛ける。2019年より筆手紙道協会® 家元として、筆文字で書き綴る「良子流®」の書や巻手紙の魅力を伝授。また「開運美書家® よしこ」として店舗の看板やディスプレイ、パッケージ、広報物のほか様々な創作活動も行っている。「手紙の匠」としてテレビ番組にも出演している。



有限会社三好商店 代表取締役

みよしいわお  
三好岩雄さん



サラリーマンから転身し、夫婦で河内庵を創業。鐘を鳴らして自転車売り歩き、ところから商売を興し、2014年(平成26年)には伊勢神宮にも奉納。現在は、八尾市のふるさと納税の返礼品にも選ばれている。



手造り豆腐 河内庵  
大豆ギャラリー

八尾市八尾木北5-119  
072-993-0221  
定休日:日曜  
営業時間  
9:30~18:30



# 今回は、物部守屋が主役です。

2021年は、聖徳太子没後1400年に当たる年。ゆかりの地では、さまざまなイベントや行事が開催されています。八尾市もちろん、独自のプロモーションを展開。その名も「聖徳太子1400年プロジェクト 八尾は聖徳太子と物部守屋」です。

八尾は、崇仏派の聖徳太子・蘇我馬子と、廃仏派の物部守屋の戦いの舞台となった場所。つまり、八尾で聖徳太子を語る上で、物部守屋の存在は欠かせないものなのです。

というわけでこの特集では、物部守屋が主役。大阪府神社庁第六支部の支部長である八尾天満宮の宮司・菅尾龍太さんと、八尾でも数多くのまち歩きツアーを行っている観光家の陸奥賢さんにもお話をお聞きしながら、歴史の中での扱いなどについて、教えていただきました。



(左)八尾天満宮 宮司 菅尾龍太さん (右)観光家 陸奥賢さん

## 聖徳太子1400年プロジェクト 八尾は聖徳太子と物部守屋

八尾は、聖徳太子が往来した道や物部守屋の本拠地があり、蘇我馬子・聖徳太子の連合軍と物部守屋の戦いの舞台であったとする歴史をふまえた多彩な企画を展開。多くの方が歴史に親しみ、学べる機会となるよう、さまざまな機関と連携した取り組みを企画しています。



公式HPはこちら！



イメージ動画や、お笑い芸人span!による解説動画も公開しています。

## 物部守屋の墓所について、まず八尾天満宮へ。

物部守屋の墓所は「物部守屋大連墳(ものへのもりやおおむらじふん)」といい、八尾市東太子2丁目あたり、国道25号線沿いにあります。すぐ近くには聖徳太子を祀る大聖勝軍寺があり、このあたりが物部守屋と聖徳太子・蘇我馬子による戦いの場所であったとされています。

物部守屋についてお話を伺うために、まず八尾天満宮を訪ねました。物部守屋の墓所は大阪府神社庁が管理しており、その委託を受けた第六支部(八尾・東大阪・松原・柏原で構成)がお守りされています。今回は第六支部長を務める八尾天満宮の宮司・菅尾さんにお話を伺いました。

八尾天満宮は「八尾の天神さん」と親しまれ、創建は慶長年間、片桐且元(かたぎりかつもと)の造営と伝えられています。「八尾の寺内町が整備されるにあたり、この神社も建てられたと思います」と、菅尾さん。特徴的な神事として、節分の追儺式(ついなしき)があり、かつては大阪府下では唯一の鬼追い神事だったそうです。境内にある立派な戎神社は、もとは道頓堀を開削したことで知られる安井道頓の末裔、安田家に伝わっていたもの。それが縁あって、1958年(昭和33年)にこちらに奉納されたそうです。八尾戎神社のえびす祭りは、八尾の「八」にちなんで毎年1月7日・8日に開催されることから、インターネットでは「日本で一番早いえべっさん」と紹介されることもあるそうです。

八尾天満宮が属する大阪府神社庁の第六支部が物部守屋の墓所を管轄しており、毎年6月には、墓前祭が執り行われています。1987年(昭和62年)は没後1400年にあたり、「物部守屋公御神退千四百年祭」として、墓前祭のほかさまざまな記念事業が行われたそうです。



八尾戎神社



八尾寺内町の木戸門を移建したと伝わる中門には、「大工長右衛門」と彫られています。

## 聖徳太子に敗れ、長らく顧みられなかった時代も。

物部守屋と聖徳太子・蘇我馬子が、大陸から伝わった仏教を巡って争ったのは587年と伝えられています。日本には古来より国神がおり、異国の神を祀る必要はないとする廃仏派の物部守屋と、他国に遅れを取らないようにと仏教を支持する崇仏派の聖徳太子・蘇我馬子が対立。幾度かにわたる戦いの後、勝利をおさめたのは聖徳太子・蘇我馬子でした。その後、聖徳太子は仏教を取り入れて国づくりを進め、その功績によって聖徳太子の存在は歴史の中で神格化されていきます。

一方敗れた守屋はというと、その墓は江戸時代にはただ盛り土がしてあっただけという状態で、『河内名所図会』にも、1本の松が生える塚が守屋塚として描かれています。「荒野の小墳墓に、小便をかけた時唾を吐いたりする者もいたと聞いています」と菅尾さん。長らく、顧みられない時代が続いたと言います。「聖徳太子が神格化されていますから、負けたほうはそのような扱いだったんでしょね」。

それが明治に入り、当時の堺県知事・小河一敏によって墓碑や石燈籠などが建立され、墓所の整備が始まります。現在は顕彰碑が建てられ、墓地を囲む玉垣には全国の名だたる神社の名が刻まれています。関西一円の神社を訪れている陸奥さんも、「神社本庁の玉垣なんて見たことなかったですから、初めて見たときはびっくりしました」と衝撃を受けたそうです。このことから、神道において物部守屋の存在がいかに特別なものがわかります。

不遇な時代が長く続きましたが、国神を守ろうとするその精神は現在まで連綿と受け継がれ、墓前祭には大阪府下はもとより他府県の神社からも70～80名の参列者が集まり、その慰霊並びに事績をたえます。驚いたのは、墓前祭では大聖勝軍寺に向かって一礼する儀式もあるということ。大聖勝軍寺の住職も参列され、例年は祭祀後の直会(なおらい)も大聖勝軍寺で行われているそうです。大聖勝軍寺の平和塔には聖徳太子と物部守屋の像が並んで祀られており、今ではお互いに敵味方の区別はありません。まさに「和を以て貴しとなす」の言葉とおり。はるか古の時代に仏教を巡って対立した聖徳太子と物部守屋、その両名にゆかりのある寺と墓所が近くにあるのは、八尾ならではの風景と言えます。



「物部守屋公御神退千四百年祭」の記念冊子



菅尾さんは昨年の墓前祭では齋主として祭祀を奉仕されました。

## 「物部守屋大連墳」に特別潜入！

今回の取材では特別に許可を得て、八尾天満宮の菅尾さんに「物部守屋大連墳」の中をご案内いただきました。



八尾市東太子にある「物部守屋大連墳」。迹見赤橋(とみのいちい)が放った矢に射落とされた物部守屋を葬った場所と伝えられ、すぐ近くにはその矢を埋めたとされる「鎧矢塚」もあります。普段は門が閉まっていて、中に入ることはできません。墓所ではありますが、立派な鳥居が建てられ、周囲の玉垣には全国各地の名だたる神社の名が刻まれています。(交通量が非常に多い場所ですので、見学の際はお気を付けてください)



左は、「物部守屋大連墳」と刻まれた墓石。大連(おおむらじ)とは、古墳時代の役職のひとつ。物部氏は大和川下流の河内国渋川郡付近を本拠地とした豪族で、守屋は敏達天皇(びだつてんのう)の即位に伴い、大連に任命されたと言われています。右の石碑には、「何背国神敬他神也(何ぞ国神に背き他神を敬せんや)」という、国神に背いて異国の神を祀ることへの疑問を呈した守屋の言葉が刻まれています。



左の写真は、墓石に向かって左側の石碑。1967年(昭和42年)に建てられた顕彰碑で、ここに刻まれている文言は八尾天満宮の先々代の宮司さんが考案されました。墓石の横には「物部守屋墳」と記された、八尾市教育委員会による石碑もあります。神社本庁の玉垣は外からでも見えるので、ぜひ訪ねる際はチェックしてみてください。陸奥さんも墓所の中に入ったのは初めてとのことで、宮司さんの説明に興味津々でした。

## 6月13日(日)墓前祭が行われました

毎年6月の日曜日に執り行われている「物部守屋公墓前祭」。今年も昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小しての開催でしたが、当日は15名の方が参列され、厳かに祭祀が進行していきました。





## 1964年の八尾

東京オリンピック関連のニュースが連日、流れている2021年の夏ですが、前回の東京オリンピックの開催年の1964年の八尾はどんな状況であったのか？ふりかえってみたいと思います。

当時発行された『八尾市時報』などによると、この年の新成人の数は3021名で、また人口は15万人を突破したという記録があります(ちなみに2021年の八尾の新成人2845名で人口は約26万人です)。

大阪市近郊の新興都市として、どんどんと人口増加していましたが、それによって住宅が増え、また自家用車も増えていくことで、問題になったのが近鉄電車の踏切による交通マヒでした。当時の近鉄線の多くは平面を走り、踏切が多かったため、あちらこちらで交通渋滞が起これ、市民生活に多大な支障が出ました。また電車の通過を待たずに無理やり横断しようとして事故も多発。近鉄線の高架化は当時の東大阪の沿線都市の悲願で、それで八尾、布施、河内、枚岡、柏原、大東の六市で「東大阪近鉄高架促進期成同盟会」が結成されました。当時のニュースでは近鉄八尾駅前の第1号踏切が最も大混雑したとあります(1978年に高架化実現)。

大発展を遂げていく八尾市に市民憲章が制定されたのも同年です。当時は八尾市が誕生して16年目だったのですが「青年都市として今後の発展を希う市民の意識」(八尾市時報274号より)が市民憲章を生み出したとあります。市民からの文案や起草委員によって市民憲章の文案が定められ、11月3日の文化の日に大橋市長(当時)が宣言して、八尾市庁舎前に八尾市民憲章碑が建立されました。

東京オリンピックの影響もあって国際交流も盛んな年でした。1月に曙川中学校にアメリカ、ワシントン州ベルヴィユ市にあるシュニク中学校のデニス・ロンバークくんが訪れて、姉妹校提携をしています。これは前年度に八尾市青年会議所とベルヴィユ市青年会議所が姉妹連携をしたさいに、日本の生活を勉強中のデニス君が来日して、八尾のことをベルヴィユの地元新聞で紹介。その記事を読んだシュニク



混雑する八尾駅前  
八尾市時報付録・議会だより(昭和39年11月5日)

ク中学校が八尾に興味を持ち、八尾の中学校と姉妹校連携をしてほしいと呼びかけ、デニスくんが八尾市教育委員会に働きかけ、実現したというものでした。デニスくんがどういった人物なのか？よくわかりま



曙川中学校を訪れたデニス・ロンバークくん  
八尾市時報(昭和39年2月10日)

せんが、その行動力と実行力に驚かされます。

さて、1964年最大の出来事である東京オリンピックですが、じつは東京オリンピックには八尾の選手がいました。松村勝美選手です。

八尾に生まれて、龍華中学校時代にバレーボールを始め、大阪府の大会で3位入賞。その活躍ぶりをみていた小島孝治四天王寺高校監督(のちに日紡貝塚女子バレーボール部の監督になります)に誘われて、四天王寺高校に入学します。高校では国体やインターハイで全国優勝4回に貢献し、1962年に日紡貝塚に入社しました。そして大松博文監督の指導の下で、東京オリンピックに出場し、見事、金メダルを獲得し、チームは「東洋の魔女」として世界的にも有名になりました。



松村勝美選手が八尾市文化表彰に選ばれたことを伝える記事  
八尾市時報(昭和39年11月5日)

金メダル獲得後の11月14日に、松村選手は大松監督と主要メンバー8名と共に八尾市を訪れています。市役所で記念ボールにサインしたあと、約2000名の市民の歓待をうけて市民ホールで開催された歓迎大会に出ました。大会では、大松監督から金メダル獲得までの苦労話や、一般ではあまり知られていないであろうメンバー同士のユニークなアダ名の紹介などがあつたらしく、聴衆が拍手したという記録が残っています。こうした活躍が認められて、松村選手は八尾市の文化表彰を受賞しました。(文:陸奥賢)



選手団を迎える  
八尾市時報  
(昭和39年11月20日)

知らなくてもええけど知っているとちょっとうれしい

## ヤオマニアック ばなし 八尾 其の6

### 八尾・大正飛行場を訪れた特攻隊・国華隊

みなさん、こんにちは。観光家の陸奥賢です。八尾のマニアックな物語をご案内する本コラム。第6回は「国華隊」です。

国華隊、ご存じでしょうか？正式には第64振武隊しんぶといい、太平洋戦争末期の沖縄戦(1945年3月26日～6月23日)のために組織された陸軍第6航空軍隷下の特別攻撃隊(特攻隊)です。山形県出身で加藤隼戦闘隊に所属して搭乗時間三千時間超えという歴戦の勇士・渋谷健一大尉を隊長とする12名の部隊で、昭和20年(1945)5月に茨城県銚田市で編成されました。その後、5月に八尾の大正飛行場(現・八尾空港)に飛来し、当地で九九式爆撃機に爆弾を装着しています。

昭和8年(1933)完成(諸説あり)の大正飛行場は、当初は民間のパイロット養成の空港でしたが、太平洋戦争中は帝国陸軍の管理となっていました。近隣住民の記録によると、大正飛行場から特攻隊が出撃するさいは、事前に町内会や隣組に通知があつて、住民たちは総動員され、滑走路脇から日の丸の小旗を振って隊員たちを見送る風習があつたそうです。また婦人たちや女学生には、千人針や寄せ書きを作つて贈るといった奉仕活動も行われました。

八尾で軍の指令を待つ隊員たちは、木の本にある浄土真宗寺院光蓮寺や近隣の旅館に宿泊するのが常だったようです。国華隊も5月28日に久宝寺・松乃屋旅館(末広町)にありましたが、戦後に廃業)に宿泊し、ここで大学ノートに辞世の句などを書いていきます。また遺品受領という名目で、家族と最後の別れの面会なども許されました。

その後、国華隊は5月31日に目達原基地(佐賀県)に向かい、6月9日に万世基地(鹿児島県)に到着します。そして6月11日正午、「第64振武隊・国華隊は本日、薄暮を期して沖縄中城



浄土真宗寺院光蓮寺



光蓮寺門前にある稲城址碑

湾および嘉手納湾の敵艦を攻撃せよ」の命令が出て、午後5時10分に12名は出撃しました。3名はエンジントラブルで帰還しましたが(当時は戦闘機も資材不足などで状態が悪く、飛ぶのがやっとなら…といった戦闘機も少なくありませんでした)、9名の方が沖縄の海で壮絶な戦死を遂げました。

隊長の渋谷健一大尉が、妻と娘(当時2歳)にあてた遺書が残っています。少し長いのですが、一部をご紹介します。

「父は選ばれて攻撃隊長となり、隊員十一名、年齒僅か二十歳に足らぬ若桜と共に決戦の先駆となる。死せずとも戦に勝つ術あらんと考ふるは常人の浅はかなる思慮にして必ず死すと定まりて、それにて全軍敵に総体当りを行ひ、尚且つ、現戦局の勝敗は神のみぞ知り給ふ。真に国難といふべきなり。父は死にても死するにあらず、悠久の大義に生きるなり」

「寂しがりやの子に成るべからず母あるにあらずや、父も又幼少に父母病に亡したれど決して明るさを失はずに成長したり。まして戦に出て壮烈に死せりと聞かば、日の本の子は喜ぶべきものなり。父恋しと思はば空を視よ。大空に浮ぶ白雲に乗りて父は常に微笑て迎ふ。」(以上、公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会会報「特攻」第43号より引用)

じつは渋谷大尉の妻は妊娠中でした。そして大尉が亡くなった6月11日に大尉の長男を出産しました。妻はもちろん大尉の出撃の日は知りません。大尉も長男の誕生は知らなかったでしょう。偶然、家族の運命の日が重なりました。

八尾の空を出発し、散華していった特攻隊員たちが、数多くいたことを、いつまでも忘れずにいたいものです。

参考文献:『陸軍最後の特攻基地 万世特攻隊員の遺書・遺影』(苗村七郎)、『日常の中の戦争遺跡』(大西進)、『戦争を発掘する』(日本機関発行センター)、『陸軍特別攻撃隊の真実 一筋に征く』(ザメディアジョン)



観光家 陸奥賢  
まち歩きプロデューサーとして300以上のコースを考案。「大阪七墓巡り復活プロジェクト」「直観読みブックマーカー」「当事者研究スゴロク」なども手掛ける。著書に『まわしよみ新聞のすゝめ』。

# 八尾プレ 企業訪問

第6回

藤田金属株式会社

## 「藤田金属」という社名が、 ブランドになる日まで。

八尾市ふるさと納税でも大人気の「鉄のフライパン」を手掛ける藤田金属株式会社。自社ブランドやオープンファクトリーなど、次々と新たなチャレンジを仕掛ける4代目社長・藤田盛一郎さんに、ものづくりへのこだわりやブランディングについてお話を伺いました。

### 作れば売れる時代から一転、 デフレで業績はどん底に。

藤田金属株式会社の創業は1951年(昭和26)、今年で70周年を迎えます。「祖父が30歳の時に創業し、当時は給食などに使われるアルミ製のカップを作っていました。リヤカーを引いて売り歩いていた時代もあったと聞いています」と藤田さん。徐々に家庭用台所用品にシフトし、ヤカンやフライパン、鍋などを手掛けるようになります。当時は「作れば作っただけ売れる時代」。量販店やホームセンターを中心に商品を展開し、好調な業績を維持していました。

しかし、20年ほど前、その業績に陰りが見え始めます。「安い中国製品が入ってきて、価格で負けるんです。デフレの波にのまれ、市場からうちの商品が消えていきました」。1990年代後半から2000年代初頭、ハンバーガー65円のデフレ時代。量販店やホームセンターは直接中国に発注し、藤田金属の製品は店頭に並ばなくなってしまいます。

その状態が10年ほど続き、このままじゃ倒産もあり得るという状況で、現会長である藤田さんの父・俊介さんが社長に就任。「祖父が創業し、父の兄である伯父が2代目、父が3代目を継ぎました」。もう後がないというタイミングでの社長交代でしたが、これが転機になったと藤田さんは言います。「父が社長になったことで意見が言いやすくなり、ダメ元でも新しいことに挑戦する気運が生まれました」。これまでの得意先向けの展示会から一転、新規取引先を開拓するために東京ギフトショーへの出展を決めます。そこで、ギフトカタログやECサイトからの引き合いが増え、売り先が急激に変化。業績も一気に回復します。



### 売り方のアイデアで起死回生！ 自社ブランドの立ち上げ。

現在は主力商品となっている鉄のフライパンですが、製造を復活させたのは現会長の俊介さんが社長に就任した約10年前。フッ素コーティングのフライパンが登場したことで鉄の需要が激減したため、45年ほど製造していなかったと言います。それが、得意先からの依頼で製造したところ反応が良く、サイズバリエーションを増やすなど商品展開に力を入れ始めます。

しかし、今度はまた別の問題が発生しました。「ECサイトの値下げ合戦に巻き込まれて、価格が崩れ始めたんです。こちらが3,000円の上代を設定しても、サイトでは1,980円で売られてしまう」。なんとか値段を守って販売したいと考えた藤田さんは、自社ブランド「フライパン物語」を立ち上げます。

「フライパン物語」は、サイズや持ち手の材質などを自由にカスタマイズでき、自分好みのフライパンをオーダーすることができます。カスタマイズという付加価値をプラスすることで、値段を下げることなく自社製品を販売できる仕組みを確立しました。「もともとあるパーツをお客さまの好みに応じて組み合わせるので、手間はかかりますが、新たな投資やリスクがありません。予算に余裕がないなか、売り方のアイデアで勝負しました」。この戦略は見事に当たり、現在も「フライパン物語」は好調を続けています。

一個からカスタマイズできる強みは、法人向けのオリジナル製造にも生かされています。藤田金属は金型から自社で製造しているため、完成までワンストップで生産が可能。そのため、サイズ展開や仕様の変更にも細やかに対応することができます。「分業ではなく、完成まで一貫通で生産できる工場は他にはあまりないと思います。オリジナルを作る対応力とスピードの速さは、うちの強みのひとつですね」。

### 東京のデザイン事務所とのコラボで、 ブランド力アップ。

自社ブランドやOEMで業績を伸ばす一方、藤田さんはまた新たな試みにチャレンジします。それが、東京のデザイン事務所TENTとのコラボレーション。自社製品に足りないのはデザインだと考え、プロダク

### 製造工程



1枚の金属板を、大型の機械で丸い形に打ち抜きます。



打ち抜いた丸い板を高速回転させ、金型に押し付けて成型する「ヘラ絞り」。



ヘラ絞りはフライパンの側面を薄く伸ばすことができるため、プレス加工の製品より軽く仕上がります。



約700度で焼きを入れ、油で仕上げられる藤田金属独自のハードテンパー加工。こびりつきやサビを防ぎます。

### ショップ



人気のフライパンや新商品のテーブルランプなど、藤田金属の製品が一堂に！

藤田幸三郎さん



工場の様子が一層望めるスペースも設置。モニターでは、メインの機械の動きが間近で見られます。



ショップは階段で2階へ。サイン入りフライパンもずらり。



トデザインの共同開発に乗り出します。「もともとTENTさんの製品サンプルを、うちの工場で作っていたんです。当初はそれだけのお付き合いで、やり取りもメールや電話だけ。でも共通の知り合いから、藤田さんとTENTさんが組んだら絶対に面白いから、騙されたと思ってやってみたら？と勧められたんです」。

その言葉に背中を押され、「取っ手が着脱できる鉄のフライパン」の企画がスタートします。しかし、重量のある鉄のフライパンをしっかり支えつつ、取り外しできる構造の取っ手を開発するのは想像以上に難しく、「サンプル作って、テストして、失敗して。もう無理かな、と思ったこともありましたが」と試行錯誤の繰り返し。完成までに1年半を要したと言います。

それでも苦勞の甲斐あって、誕生した「フライパンジュー」は出だしから好調。多くのメディアにも取り上げられました。この反響に、藤田さん自身も驚いたと言います。「量販店やホームセンターで売っていた感覚があったので、価格をもっと下げないと売れないと思っていました。でも実際は、とても良い反応をいただいた。これは発見でしたね。TENTさんの商品の見せ方や売り方もすごく参考になりました。」この経験が、ブランディングやデザインの大切さに気付くきっかけになったと藤田さん。現在はTENTのほか、近畿大学やジャーナルスタンダードなど、コラボの幅を広げています。

### おしゃれすぎるオープンファクトリーは、 一見の価値あり。

藤田さんは2020年12月、4代目社長に就任します。跡を継ぐことに葛藤や抵抗はなかったかとうと、「なかったです。幼稚園の頃から祖父

に、跡取りだと言われて育ったので」と即答。「それ以外の選択肢を考えたこともなかった。ある意味、洗脳ですね(笑)」と笑います。現在は弟の信二郎さんが製造の責任者、幸三郎さんが経理と金型製作と、役割を分担して会社を支えます。

2021年4月には、工場と社屋をリニューアルした「ふらっぱんヴィレッジ」が完成。製造工程が見学できるオープンファクトリーにショップも併設し、見て、触れて、買える工場になっています。

工場を見下ろすスペースを設け、メインの機械の動きがアップで見られるモニターを設置。製造工程をわかりやすく説明した冊子も作成しています。スタッフの皆さんが着用するのは、背中にフライパンジューのロゴが入ったTシャツ。「前は作業着だったんですけど、リニューアルのタイミングでTシャツに。冬のユニフォームも、スタッフみんなで作ってくれました」と藤田さん。ちなみにロゴ入りキャップは、「僕が、髪型セットするのがめんどくさいので」という理由で作成したそうです。

ショップには「フライパンジュー」をはじめ、ふるさと納税の返礼品ランキング上位に輝く近畿大学コラボのフライパンもラインナップ。藤田金属の人気商品を見て触って選ぶことができるスペースになっています。

創業70年を迎え、次々と新たな挑戦を続ける藤田さんに今後の展望を伺いました。「商品だけでなく、これからは企業ブランディングに力を入れたいと思っています。企業名がそのままブランドになるような。あ、八尾の藤田金属のフライパンやん!と言われるようにしたいですね」。

Present

### 今号の八尾プレ

持ち手が取り外しでき、そのままお皿のように食卓に出せる大人気のフライパンをご提供いただきました！



「フライパンジュー」  
Mサイズ/ビーチ(ブナ材)

3名さま

藤田信二郎さん

応募詳細は裏表紙をご覧ください →



藤田金属株式会社  
〒581-0035 大阪府八尾市西弓削3-8  
TEL 072-949-3221  
FAX 072-948-3635



公式HPはこちら

ふらっぱんヴィレッジ  
(藤田金属敷地内)  
平日9:00~17:00オープン



# みんなの川柳

今月のテーマ

## 八尾の夏

次回のテーマ「八尾の秋」

[応募はこちらから▶](#)



八尾にまつわる川柳をお寄せいただく新企画! 右記の読者アンケートフォーム内の応募欄より作品をお送りください。いただいた作品は事務局で選定のうえ、次号に掲載いたします。

今回は八尾在住・在勤の皆さんに書いていただきました。 ※掲載は作品のみです。写真は掲載されません。

旅すれど あおぎたいかな 故郷の空

梅雨空に じつと我慢の エアポート

櫓から 聞こえてきたよ イヤコラセ

自粛でも 笑顔あふれる まちになれ

叶うなら 河内音頭を みんなでね

枝豆柄 Tシャツまくり 栓を抜く

目で涼む 玉串川の 水流れ

祭りの日 呼出し太鼓に 血が騒ぐ



ペンネーム  
ふた葉ちゃん



朝日航空株式会社  
嶋村洋一さん



FMちゃお  
鈴木昌宏さん



ミキハウス  
山門達矢さん



トキアプロフォーモ  
高橋時章さん



KSK  
吉野圭介さん



浮世似顔絵師  
村政さん



茶吉庵  
萩原浩司さん